

市長室から（3月10日記）

春の訪れに思う

春の日差しがまぶしく感じられる頃になりましたが、市民の皆さんは、いかがお過ごしでしょうか

この冬は、雪も少なく、三笠地区では平年（過去5か年）の約6割、幾春別地区では平年の約8割の降雪量であります。（3月10日現在）

例年に比べ、除雪作業も少なく過ごしやすい冬だったと思います。

このように雪が少ないとダムの貯水量が心配になりますが、ダムを管理する北海道開発局に問い合わせたところ、残雪の状況から、今のところ特段心配する状況ではないとのことであります。

ただし、夏のダムの貯水量は、これからの5月から7月の降雨量の影響が大きく、その状況を見なければ、決定的なことは言えないとのことでありました。

いずれにしても、水を大切に使うことには心がけていただきたいと思います。

さて、1月30日に判決の出された東清住地区の養豚場からの臭気問題については、皆さんも新聞報道でご覧になったと思いますが、その後、町内会への回覧でも市からお知らせしましたように、裁判所は手続き論に終始し、臭気の問題については何も判断していない状況であり、それであれば今後もこの状況が続くと考えられ、市としては法律に基づき手を緩めることなく、従来通り粛々と取り組んでいかなければならないと考えています。

市民の皆さんのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

また、高校生レストランは、来られる方が途切れることなく大変好評を得ておりますが、今年は、現在建設中の三笠市芸術文化振興促進施設（美術館）がオープンします。

高校生レストランとの連携により、来られる方の待ち時間を有効に過ごしていただくための効果を期待していますが、この施設の建設には、高校生レストランの建設と同様に国の地方創生拠点整備交付金が適用となり、市としての負担が無い状況で建設することができました。

この制度は、適用する施設の事業内容などに一定の制約がありますが、まちの負担が無いため、市としては今後においても、適用できる施設であれば、国と協議し活用していきたいと考えています。

それにしても、新型コロナウイルスが猛威を振るっています。

本日（3月10日）現在、空知管内で5名の感染が確認され、そのうち隣の岩見沢市において2人の感染がありました。

昨今は、人々の動きが大変広域化し、感染の機会が多くなっていると考えざるを得ません。

市外に出かけられるとき、また、市内においても人混みの中へ出かけられるときには十分注意されますよう、よろしくお願いいたします。

これに加えて、正体の見えないウイルスとの戦いが、先の見えない状況で続くこととな

り、市民の皆さんにとっては大変な苦痛かと思いますが、感染リスクを下げるのが、自分を守り、家族を守り、周囲のかたがたを守る道となることを共に認識し、この戦いに勝利しましょう。

市内の医療関係者、保健関係者も全力で取り組んでおります。

市民の皆さんのご理解をよろしくお願いいたします。

(広報みかさ令和2年4月号に掲載したものです。)